

## はじめに

---

現在の社会情勢は、少子・高齢化や情報化、国際化の急速な進展、人々の価値観の多様化、日常生活や経済活動の広域化、さらには、地方が決定すべきことは地方が自ら決定するという地方自治の本来の姿の実現に向けた地方分権改革など、大きな変革の時代を迎えています。

今後、住民主権による真の地方分権の実現に向け、住民に最も身近な基礎自治体である市町村は、今後の地方行政の中心的な役割を担っていくものと期待されています。同時に、市町村は、期待される役割や責任を果たし、多様化・高度化する住民の行政需要に的確に対応していくため、『自己決定、自己責任』という分権改革で掲げられた理念を踏まえ、基盤のしっかりした『持続可能な自治体』を築いていくことが求められています。

こうした背景の下、阿智村では、平成16年1月に「阿智村自立プラン」を策定し、村民が知恵を出し合って、助け合い、それぞれの役割を果たすよう努力しながら『持続可能な村』を実現していくという考え方を明らかにしました。そして、この理念を共有し、阿智村と旧浪合村とが平成18年1月1日に合併しましたので、清内路村との合併協議においても、この理念の共有を前提としてきました。

この2村の合併は、行財政規模が格段に拡大するものではなく、むしろ、小村と小村が手と手を取りあって厳しい時代を乗り越え、発展していこうとする、自己決定の度合いの高い合併形態であると言えます。合併後も、小村としての自立の道が厳しいものであることに変わりはありませんが、住民一人ひとりが、小さいからこそ生き活きと輝く村を築いていこうとする気概を新たにして、お互いの顔が見え、心の通い合う村づくりに取り組んでいきたいと考えます。

この新村基本計画は、2村の住民の代表が検討を重ねて取りまとめた「新しい村づくり会議検討結果」を踏まえて、合併後の新村をどのような方向や目標に向けて創っていくのかという方針を示し、新たな自立の村の発展をめざす道標とするため策定したものです。